

# 放射能は減衰しているのか？区内一〇〇〇測定を 和泉なおみ都議と市民団体がよびかけ

都議になってから一年間、繰り返し放射能対策を都に求め続けてきました。

しかし、都の答弁は冷たく、「都内十八か所で測定している放射線量は事故前に戻っている、(除染を行った)水元公園での数値も減衰傾向がみられ、これ以上の測定は必要ない。子どもの健康調査もやらない。」というものです。

葛飾区では、今でも区の除染基準(地上1cmで二マイクロシーベルト/時)を超える場所で除染を行っています。一方で、都の除染基準は地上1mで二マイクロシーベルト/時となっており、区内の都営住宅や都立施設では、たとえ区の基準を超えていても放置されています。

そこで、区内で放射能対策を求め続けてきた「子どもと区民を放射能から守る葛飾連絡会」と「葛飾青空の会」と共同で、日本共産党区議団と連携し、区内一〇〇〇か所の測定を行うこととしました。目に見えない放射能。私たちの暮らす足元にあっても、測らなければ実態はつかめません。子どもたちの未来を守るために、今できること、今しかできないことをやるのは、大人である私たちの責任です。測定活動への協力・参加を心から訴えます(和泉なおみ)。



奥戸の都営住宅で住民のみなさんと測定



参院議員も一緒です。

7日 教育庁に教育委員会制度の廃止反対の申し入れをしました。

11日 東京都難病者連絡会総会、午後に肢体不自由者協議会の総会。さらに葛飾に戻って「介護をよくする会」総会に参加。

12日 都営住宅建替え問題で、おりかさ区議とともに住民説明会に参加。「一番北側の棟だけでも四階建てに」という住民の皆さんの切実な訴えに、担当者が「再度検討し、説明会を行う」と回答。

13日 新宿区で美容院を経営している方から、社会保険加入のことで相談。大山都議と一緒に先方へ。

14日 柴又の河川敷で水防訓練を視察。

17日 北千住の高齢者の複合サービス施設を視察調査。訪問看護ステーションと隣接していて、医療ケアの必要な高齢者の宿泊も可能。さまざまな問題点や、都への要望なども聞いてきました。

17日 日本共産党葛飾区議団主催の「保健センター学習会」に参加しました。保健センターは、

乳幼児健診をはじめ精神疾患、難病相談など、住民の健康を守るうえで、なくてはならない施設です。存続のためにがんばります。



水防訓練に参加しました(5/14 柴又河川敷)

## 和泉なおみ都議

### 6月の駅頭宣伝予定

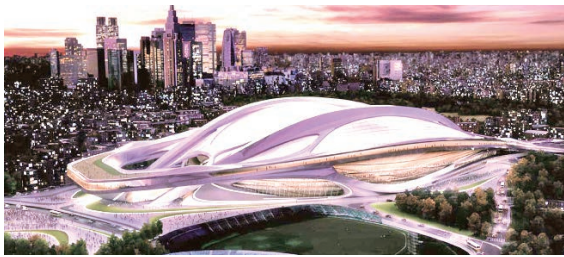
7:30 ~ 8:30

- 3日(火) 新小岩北口
- 6日(金) 立石
- 11日(水) 綾瀬
- 12日(木) 金町南口
- 17日(火) 金町北口
- 24日(火) 四つ木
- 26日(木) 青砥



NO.3 2014.6.  
**和泉なおみの さわやかレポート**  
 発行：和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8 TEL5671-0850 FAX5671-0851

1日メーデー  
 毛隊のみなさんを  
 激励。吉良よし子



新国立競技場の完成予想図

# ちよつと待って!

和泉なおみは訴えます

## 国立競技場の解体工事

### 日本共産党都議団が 都知事に申し入れ

日本共産党都議団は、五月二二日、東京オリンピック新競技場建設にむけた七月の国立競技場解体工事を中止し、計画を見直すよう都知事に申し入れました。

著名な建築家や学者からも環境への影響や過大な財政負担を懸念する声があがっています。

### 巨大化する施設計画

国立競技場は、これまでのどのオリンピックの施設よりも大きく、のべ床面積はロンドン五輪の三倍もあります。

しかも狭い敷地いっぱい建物を見て、8

万人も詰め込み、防災上も問題があります。建設費用は、一七〇〇億円と膨大で、ロンドン五輪の二倍になっています。

### 「IOC文書にも、「閣議了解」にも反する

IOCは、「既存の競技施設できる限り最大限活用し、環境への影響を弱める努力をしなければならぬ」としています。また、二〇二一年一二月の「閣議了解」でも、「既存施設の活用を図る」としています。

それを既存施設の活用どころか、収容人数をIOCの要請基準を大幅に増やして建設し、さらに神宮外苑を中心に、周囲の景観を破壊するなど、スポーツ振興どころか開発優先の計画とすべきものです。

### 多くの都民の理解と支持で成功させましょう

オリンピック開催決定直後の世論調査では、七二%の人が、「できるだけ支出を抑えるべき」と回答しています。

また、著名な建築家をはじめ一〇〇名もの学

者から新国立競技場計画にたいし、見直しの要望がだされています。今なら、建築費を下げ、工期を短くし、将来にわたって使いやすい施設に変えることができます。

### 職人の技

### 和泉なおみ

5月3日の憲法記念日に、新小岩公園で「ふれあいまつり」が開かれました。

地域の皆さんに定着しているこのまつり。準備をする自治会や関係団体の皆さんは大変だと思いますが、三万人ほどの入場者数に「苦勞も吹っ飛ばす」そうです。

焼きそばや、わたあめは長蛇の列。神輿の準備がされていたり、伝統工芸の展示即売があったり。なにしろ私は、伝統工芸というのに弱いのです。三味線の体験、木工芸、ガ

ラス工芸、等々。ついつい見入ってしまいます。棕櫚(しゅろ)たわしと、手書友禅の日傘を買いました。

たわしは、普通のものより毛束が細く密集していて、汚れ落ちがよく、手にちくちくしません。ごしごし洗っても毛束がへたってしまいうこともなく、とても使いやすいです。

日傘は、ちよつとお値段が張ります。「清水の舞台から飛び降りる覚悟で買っちゃおう」と言

うと、「売るほうだって、本当はこんな値段じゃ採算が合わないんだよ。売るほうも清水だ」。

そうですね、この方たちが「職人」と言えるようになるまでに、どれほどの時間と修練が必要だったことか。

職人から、職人へと引き継がれてきた技術は、マニュアルでは培えません。そう思うとやっぱり「職人の技」伝統

工芸品に惹かれてしまふのです。



日本共産党都議会議員・和泉なおみの  
**生活・年金・法律相談**  
6月11日(水)午後2時より  
於・和泉なおみ事務所  
事前にお電話ください  
毎月第二水曜日に、東部法律事務所の弁護士さんのご協力をいただきまして、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。ぜひ、お気軽においでください。お待ちしております。願いましたし。

(7月は9日(水)です)